



荒高PTA・後援会だより

いなりだい

Vol.
89

令和4年7月20日発行

発行：山形県立荒砥高等学校 PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校 PTA 文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL (0238) 85-2171 FAX (0238) 85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>



令和四年度の活動について
PTA会長 遠藤 茂男

三ヶ月が過ぎようとしています。一年生十八名、二年生二十一名、三年生二十一名、全校生徒六十名でのスタートとなりました。本年度新入生の十六名という人数は過去最少の人数にもかかわらず元気さと、パワーが感じられ、その影響を受けて荒高魂の意識が例年より向上している様に感じられます。

PTA活動もコロナ陽性者数減少傾向で昨年とは一変して順調に進んでいる状況です。最近の出来事ですが、荒高スポーツ祭が保護者観覧のもと三年ぶりに開催されました。笑いあり、感動ありで、何よりも生徒全員が笑顔で頑張っている姿を見て、大変うれしく思いました。このスポーツ祭で気づかされた事は、年次を超え

た縦の繋がりを強く感じたことです。

一昨年から荒砥高校は白鷹町において重要な教育の拠点であると位置付けられ、荒砥高校魅力化に係る地域連携協議会が設置され専門知識の豊富なアドバイザーをはじめ、多方面の方々に協力を頂きながら進んでいる状況です。その成果である、教職員と生徒の学校評価の高さを、地域の方々に知ってもらいたいと思っています。それには保護者の学校評価の底上げが重要であると考え、これらのPTA活動の大きな課題としていきたいと考えております。

最後になりますが、日頃からご支援を頂いている白鷹町の皆様、後援会の皆様、温かく生徒一人一人のご指導を頂いている教職員の方々に感謝を申し上げます。PTA会員の皆様にはこれからもより一層のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



令和4年7月20日発行

いなりだい

第89号(4)

新任者紹介

よろしくお願いします



教務課総務
商業・情報科
川合 博之 先生



進路指導課
2年次主任・国語科
森 綱一郎 先生



教務課
1年次副担任・数学科
高橋 祐一 先生



生徒保健課
2年次副担任・国語科
梶沢 歩 先生



地歴・公民科
山水 亜希 先生



事務長
菊地 渡 さん



学校技能員
鈴木 幸治 さん



事務補助
渋谷 孝子 さん



音楽科
和久井千夏 先生

健全育成部

健全育成部長 齋藤 和洋

今年度の健全育成部の活動は、コロナ禍での実施だった活動が制限されました。新型コロナウイルスが流行し始めて三年目になり、現在感染者は減少傾向にありますが、まだまだ油断できない状況にあります。そんな中ですが、今年度の健全育成部の活動として、朝の街頭指導でのあいさつ運動、荒砥駅前での列車乗車マナーアップ運動を行う予定です。この活動を通して生徒の保全と情緒の安定を図り、荒砥高校生一人ひとりの

文化部長 迎田 一昭

今年度の活動について
文化部長 迎田 一昭

昨年度、一昨年度とコロナ禍でPTA活動ができませんまま二年が過ぎてしまいました。今年度は、コロナ前のようにとはいかないまでも感染対策をしたうえで少しずつではあります、PTA活動ができるのではと思っています。

文化祭も感染対策を徹底したうえで、生徒、学校、PTAが連携し、柔軟な考えや発想を持ち寄って実行していけたらと思います。

今後も、生徒たちの様々な活



壮行式



PTA朝の街頭指導

個性を大切にしていきたいと考えています。

今年度も制限はありますが、できる範囲で活動を行い、健全に学校生活を送れるよう一年間皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集委員

PTA文化部

部長 迎田 一昭

副部長 小口 弘幸

部員 小林 政雄

小関由利子

柳谷 仁士

編集後記

編集にあたり、ご協力いただきました皆様、心より感謝いたします。

学校行事や地域と密着した荒砥高校の様子を「いなりだい」を通して多くの方々に発信できるように協力していただきたいと思います。

(PTA文化部 編集委員会)





●令和四年六月十六日(木)●
荒砥高校伝統行事のひとつである「体育祭」が今年から全学年一クラスになるということで、「スポーツ祭」と名称と企画を変更して開催されました。
今年度は、平日ではありませんが、コロナ感染症対策をきちんと行い、来賓、保護者を招待しての開催となりました。今年度再び本校の伝統を紡いでいたことは、大変喜ばしいことでした。「スポーツ祭」のハイライトは赤軍、白軍の「ダンス」披露。短い準備期間の中で、三年生の組幹部を中心に作り上げたものです。両軍とも息の合ったすばらしい「ダンス」でした。
様々な制限がある中での「スポーツ祭」。競技が終わった後、演じきった後の生徒たちの充実した表情：実に、すがすがしい気持ちにさせられました。

生徒達の為 温かき支援を



後援会長
菊地 豊宗

の皆様には、荒砥高校の教育活動支援の為に物心両面にわたりご支援ご協力を戴いていることに深く感謝申し上げます。
少子化の影響で小規模校となった荒砥高校の課題は、置賜管内全体の生徒数が減少している中において如何に入学者を一人でも多く確保するかであります。白鷹町は地元の学校を護るべく地域連携協議会を設置し、学校当局が実施するものと協議会が実施するものとに分けて、荒砥高校の魅力化を図る為の様々な取り組みが成されています。
協議会構成メンバーである後援会は荒砥高校の教育の充実と進展に寄与することを目的として活動している組織であります。今年度の後援会会費の使途について、具体的な取り組みとし

て予定している主な内容は
①生徒一人一台のパソコン導入に伴うICT環境の整備・推進のため。②「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の学習内容の充実をはかるため。③道路沿の広告看板のリニューアル（一枚のみ変更）への助成等であります。
未だにコロナ禍の収束の兆しが見えない中で、ロシアの軍事侵攻が勃発し収まる気配が見えないという実に不安定な社会情勢です。この様な厳しい状況下において後援会特別会員の皆様に今年度もご支援をお願いすることは心苦しい限りですが、明日を担う生徒達の夢実現の為に何卒ご理解の上、温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

不可能を超える 荒高生をめざして



校長
地主 佳子

PTA、後援会の皆様には、日頃、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。
本校は、今年度創立七十四周年を迎えました。四月に十六名の新入生を迎え、各年次一学級、全校生六十名でのスタートとなりました。
五月に行われた置賜地区総合体育大会では、テニス部が女子シングルスで優勝し県大会に進出しました。また、文化部では、囲碁女子が、八月に行われる全国高校囲碁選手権大会、全国高校総合文化祭に出場を決めました。吹奏楽部は、二年ぶりに行われた白鷹町の消防出初式で演奏を披露しました。現在、七月の県吹奏楽コンクール、秋の定期演奏会への準備と、日ごろの練習

にも一層力が入っています。また、六月に本校三大行事の一つであるスポーツ祭を開催し、紅白に分かれての白熱した競技、ダンス演技などを通して、年次を超えた荒高生の団結を強めることができました。今年は学校運営協議会委員、保護者の皆様にもご案内し、生徒たちの活躍を参観していただけたことも喜びのひとつです。
今年度の生徒会スローガンは「Nothing is impossible ～不可能を超える～」です。生徒一人ひとり、そして荒高全体が、自分の限界を決めつけずに挑戦していこうという思いが込められており、折々に言葉にしています。
小規模校ですが、入学後の生徒の伸び代は無限大であることが本校の自慢です。荒砥高校での学びを通して「なりたい自分」を目指せるように、教職員一丸となって取り組んで参ります。PTA、後援会の皆様には今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和四年度 PTA役員

会長	遠藤 茂男
副会長	鈴木 京子
文化部長	迎田 一昭
健全育成部長	齋藤 和洋
顧問	佐藤 誠七
顧問	衣袋 慶三
顧問	土方 俊男
顧問	新野 晃敏
顧問	青木 彰榮
顧問	長澤 一雄
顧問	早田 久次
顧問	竹田 良一
顧問	吉田 博之
顧問	遠藤 茂男
顧問	地主 佳子
顧問	地主 佳子

令和四年度 後援会役員

会長	菊地 豊宗
顧問	佐藤 誠七
顧問	衣袋 慶三
顧問	土方 俊男
顧問	新野 晃敏
顧問	青木 彰榮
顧問	長澤 一雄
顧問	早田 久次
顧問	竹田 良一
顧問	吉田 博之
顧問	遠藤 茂男
顧問	地主 佳子
顧問	地主 佳子